

新規採用時 履歴書記入例

年 月 日 () 教授会において
 担当の として採用することを承認した。
 (採用年月日 年 月 日)
 学部長 ㊟

採用理由

履 歴 書

ふりがな	しんいん (がくいん) たろう		性別	
氏名	神院 (学院) 太郎			
生年月日 (年齢)	(西暦) 1975年 10月 1日 (満 46 才)		国籍	
現住所	〒650-8586 兵庫県神戸市中央区港島一丁目1番地3		(※日本国籍を有する場合は記入不要)	
電話番号	078-974-1551	E-mail	〇〇@j.kobegakuin.ne.jp	

学 歴

(西暦)年月	事 項
1991年 3月	兵庫県神戸市立〇〇中学校卒業
1991年 4月	兵庫県立〇〇〇高等学校普通科入学
1994年 3月	同 普通科卒業
1994年 4月	〇〇〇〇〇〇大学〇〇学部入学
1998年 3月	同 学部卒業
1998年 3月	〇〇免許取得 (免許番号: 〇〇〇〇〇)
1998年 4月	〇〇〇〇〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士前期課程入学
2000年 3月	同 博士前期課程修了
2000年 4月	〇〇〇〇〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻博士後期課程入学
2003年 3月	同 博士後期課程単位取得満期退学
2005年 6月	博士 (法学) 取得 (〇〇〇〇大学)

職 歴

(西暦)年月	事 項
2003年 4月	〇〇〇〇大学〇〇学部講師 (～2008年3月)
2008年 4月	〇〇〇〇大学〇〇学部准教授 (～2017年3月)
2017年 4月	〇〇〇〇大学〇〇学部教授 現在に至る

学会及び社会における活動等

(西暦)年月	事 項
2002年 4月	〇〇研究学会
2007年 4月	△△学会

賞 罰

(西暦)年月	事 項
	なし

(西暦) 2021年 11月 1日 上記のとおり相違ありません。

2021年 11月 1日

氏 名 神院 (学院) 太郎



新規採用時履歴書記入要領（西暦で記入してください）

1. 「氏名」は、戸籍のとおり正確に記入し、必ずふりがなをつけてください。なお、日本国籍以外の国籍のみを有する場合は、在留カード（在留カード未交付の場合は外国人登録証明書）のとおり記入してください。
 - ・旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで通称名を併記してください。
2. 「性別」の欄は、性別を記入してください。ただし、記入は必須ではありません。未記入の場合も、選考において不利益となることはありません。なお、正式採用された場合は雇用管理上、戸籍上の性別情報が必要となります。この情報は、採用時にご提出いただく住民票、パスポートのコピー、在留カードのコピー等により確認します。
3. 「国籍」の欄は、日本以外の国籍を有する場合に、当該国籍を記入してください。
4. 「生年月日（年齢）」の欄の年齢については、作成時の満年齢で記入してください。
5. 「写真貼付欄」には縦4 cm×横3 cmの6か月以内に撮影した写真を貼付してください。
※宗教上または医療上の理由がある場合は着帽等可能です。
6. 「学歴」の欄には、中学校卒業からの学歴のすべてについて記入してください。
 - ・なお、研究生等は記入しても構いませんが、予備校、各種学校、その他の空白期間は記入しないでください。（ただし、会議の中で所属長がその空白期間について、口頭で説明しますので、あらかじめ空白期間の理由を所属長にお伝えください。）
 - ・学位称号〔修士・博士（〇〇）、名誉教授〕については授与大学を含め必ず記入してください。
 - ・取得した免許があれば免許番号を含め必ず記入してください。
 - ・資格等についても同欄に記入してください。
7. 「職歴」の欄には、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。
 - ・始期と終期を明確に記載してください。
 - ・原則として非常勤講師は記入しないでください。ただし、学校関係以外の企業のみ勤務していた方、大学院等修了後専任として就職したことがない方で、教職経験として非常勤講師の職歴がある方、及び2013年4月1日以降に本学での非常勤講師の職歴がある方は、その職歴をすべて記入してください。
 - ・学校関係の職歴がある方は、その学校における職階名、昇任年月日、部局長等役職の期間等も記入してください。
8. 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入してください。
 - ・加入学会名、加入年月日、学会等での役職名等を記入してください。
9. 最下段の「氏名」は本人が自署し、必ず押印してください。